

2023(令和5)年度 科目別教育内容



佐賀県農業大学校

目 次

科	目 名	ページ
国語(小論文)	実用数学	1
くらしと法律	外国語(英語Ⅰ)	2
キャリアプランニング	体育	3
農業と化学		4
作物総論	野菜総論	5
花き総論	果樹総論	6
畜産総論	土壌肥料総論	7
植物防疫農薬総論	農業機械Ⅰ	8
環境保全と農業	気象と農業	9
アグリビジネス	農業経営及び農業金融	10
農業法人	農業生産管理工程	11
農業協同組合	農畜産物貿易と流通	12
農業政策	農業法規	13
スマート農業		14
農業実験	農業機械操作・整備演習	15
農畜産物加工演習		16
農畜産物販売演習	農業簿記演習	17
パソコン演習		18
土壌・肥料各論	病害・害虫各論	19
植物生理	植物育種	20
農業機械Ⅱ	園芸施設	21
作物現地講義	野菜現地講義	22
花き現地講義	果樹現地講義	23
作物栽培各論Ⅰ	野菜栽培各論Ⅰ	24
花き栽培各論Ⅰ	果樹栽培各論Ⅰ	25
作物栽培各論Ⅱ	野菜栽培各論Ⅱ	26
花き栽培各論Ⅱ	果樹栽培各論Ⅱ	27
家畜栄養	畜産環境保全	28
家畜衛生	家畜解剖	29
家畜生理	家畜育種	30
飼料作物・畜産機械	家畜繁殖	31
家畜飼養各論Ⅰ	家畜飼養各論Ⅱ	32
畜産経営	家畜人工授精実習	33
農家派遣研修	流通研修	34
先進地事例調査		
プロジェクト研究	卒業論文	35

番号	1	科目名	国語（小論文）		区分	教養（共通科目）				
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	1	総コマ数	10		
到達目標	1 小論文に関する基礎知識を習得する。 2 小論文を書く際の出題パターンを知り、自分の意見を簡潔に述べる技法を習得する。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	1 小論文に関する基礎知識	1 小論文と作文の違い・小論文とは何か 2 作文との相違点			2					外部講師 福井 寿彦
	2 小論文の構成方法	1 小論文の構成の基礎知識 2 段落 3 文字数について			2					
	3 小論文によく出るテーマ	1 小論文に出題されるテーマの基礎知識 2 社会情勢、農業に関する知識習得			2					
	4 小論文を書く際の注意点	1 文体についての基礎知識 2 話しことばの使用 3 一人称について			2					
5 小論文出題パターン	1 テーマ型 2 課題文型 3 データ型			2						
使用教材	オリジナルテキスト									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	2	科目名	実用数学		区分	教養（共通科目）				
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	1	総コマ数	10		
到達目標	科学の基礎である数学の知識や技能を高めるとともにそれらを情報化時代の各専門分野に活用する 態度と能力を養う。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	1 数学の歴史	1 農業における歴史的な数学のエピソードとしての太閤検地			1					外部講師 糸山 喜昭
	2 数量の計算と換算	1 色々な単位（尺貫法、メートル法等） 長さ、面積、体積、重さ			1	1				
	3 基礎的計算力の養成 その確認と演習	1 方程式			1					
2 関数とグラフ			1	1						
3 速さ、割合			1	1						
4 図形とその計算（面積、体積）			1	1						
使用教材	オリジナルテキスト									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	3	科目名	くらしと法律	区分	教養（共通科目）		
課程	全課程	専攻	全専攻	学年	2	総コマ数	10
到達目標	私達は争いを起こしたり、争いに巻き込まれることがあります。私法という法律は、そのような争いを権利と義務の関係として解釈するルールです。権利にはどのようなものがあり、どのようにして実現されるのかを知る。						
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態別コマ数				担当 講師名等
			講義	演習	実験	実習	
	1 法律とは何か	1 法と道徳 2 公法・私法・公私総合法 3 日本国憲法と基本的人権の保障	1				外部講師 中尾 澄雄
	2 権利・義務の主体	1 自然人・法人・制限能力者	2				
	3 物に関する権利 ① 債権 ② 不法行為、損害賠償	1 物の種類と財産権 2 有権・担保物権 3 財産権 4 工業所有権・著作権	2				
	4 他人に求める権利 ① 債権	1 法律行為の無効と取り消し 2 法律行為（契約）による債権・債務の発生 3 債権の担保	2				
	5 物の売買・貸借と法律	1 動産と不動産・登記	2				
	6 親族・財産相続	1 親族の範囲・婚姻・親子 2 相続・遺言・遺留分	1				
使用教材	教科書「経済活動と法（実教出版）」						
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況						

番号	4	科目名	外国語（英語Ⅰ）	区分	教養（共通科目）		
課程	全課程	専攻	全専攻	学年	2	総コマ数	10
到達目標	1. 基礎的な英会話に親しませる 2. 農業に関する英単語や表現の定着						
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態別コマ数				担当 講師名等
			講義	演習	実験	実習	
	1 Daily conversation (日常会話)	1 挨拶 2 自己紹介 3 学校 4 海外の家庭 5 海外の文化 6 公共の場所 (ショッピング・銀行・レストラン・病院・ホテル等)	8				外部講師 重松 諒爾
	2 Agricultural information (農業情報)	1 海外の農場について 2 農業用語の習得 3 農業に関する表現の学習	2				
使用教材	オリジナルテキスト						
評価の要素	筆記試験・学習態度、出席状況						

番号	5	科目名	キャリアプランニング		区分	教養（共通科目）				
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	1・2	総コマ数	18・12		
到達目標	自己を理解し、今後の進路に向けてキャリアプランをたて、進路実現を目指す。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	1	自己理解 1年生	1	自己分析と自己理解	4	4				外部講師 宮地 紗世
	2	自己表現 1年生	1	コミュニケーション	4	4				外部講師 宮地 紗世
	3	実践講話 1年生	1	農業経営者講話（現地講義）				4		農業大学校 教務
	4	就農活動 2年生	1	就農計画と就農支援	2	2				農産課 鐘ヶ江登美子
5	就職活動 2年生	1	履歴書作成	3	3			ハローワーク ジュブカフェ SAGA 陣内 妙子		
2	使用教材	オリジナルテキスト								
2	評価の要素	学習態度・出席状況								

番号	6	科目名	体育		区分	教養（共通科目）			
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	1・2	総コマ数	30	
到達目標	運動の合理的な実践を通じて健康の増進と体力の向上を図る。								
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
				講義	演習	実験	実習		
	1	集团的スポーツ	1	サッカー		22			
2	レクリエーション種目	2	ロードレース						
		3	バドミントン						
		4	卓球						
		5	バスケットボール						
		1	歩行競技		10			農業大学校 教務担当他	
		2	ボーリング他						
2	使用教材	各種競技に必要な用具							
2	評価の要素	学習態度・出席状況							

番号	7	科目名	農業と化学		区分	教養（共通科目）				
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	1	総コマ数	10		
到達目標	農業における危険物や毒・劇物に関する基礎知識を理解させるとともに、その取扱い、保管・管理方法を習得させる。 併せて、危険物乙種（4類）、毒・劇物取扱者資格（農業品目）取得を目指す。									
指導内容	大項目 (単元)		小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				
						講義	演習	実験	実習	担当 講師名等
	1	毒物・劇物取扱者資格について	①	法規	0.5	0.5			養成部 久富 光祐	
		②	法規、基礎化学	0.5	0.5					
		③	基礎化学、毒物及び劇物の性質	0.5	0.5					
		④	毒物及び劇物の性質・実地	0.5	0.5					
		⑤	まとめ及び模擬試験	0.5	0.5					
2	危険物乙類4種取扱者資格について	①	危険物に関する法令	0.5	0.5					
		②	物理・化学	0.5	0.5					
		③	危険物の性質・火災予防・消火方法	0.5	0.5					
		④	危険物の性質・火災予防・消火方法	0.5	0.5					
		⑤	まとめ及び模擬試験	0.5	0.5					
使用教材	毒物劇物取扱者試験テキスト&問題集、危険物取扱者									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	21	科目名	作物総論		区分	専門（共通科目）				
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	1	総コマ数	10		
到達目標	作物の生産と消費の動向を基調とし、作物の生理・生態の基礎及び水稻栽培に関する基本技術を習得する。また、複合経営のなかの水田経営のあり方を理解する。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	1 作物の概要	1 作物の生産と消費の動向 2 品種の育成と普及 3 作物の生理・生態			2					農業大学校 多々良 泉
	2 水稻の栽培	1 稲作の現況と問題点 2 水稻の生育診断とその活用方法 3 良質米生産の基本技術 4 水稻生産の改善技術 5 複合経営における水稻作のあり方 6 大規模経営の取組			4					
	3 麦の栽培	1 高品質麦生産の基本技術 2 麦の品質向上対策 3 用途別需要と流通の現状			2					
4 大豆の栽培	1 大豆栽培の基本技術 2 大豆の用途と流通の現状 3 水田転作作物としての大豆の役割			2						
使用教材	教科書「作物栽培の基礎」									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	22	科目名	野菜総論		区分	専門（共通科目）				
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	1	総コマ数	10		
到達目標	野菜園芸の発達と現状のあらましについて理解するとともに、主要野菜の栽培方法を習得し、野菜園芸経営を展開する能力を養う。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	1 野菜園芸の歴史	1 世界における野菜園芸の歴史 2 我が国における野菜園芸の歴史			1					農業大学校 川崎 美紀
	2 野菜栽培の生理生態	1 生育と品質 2 生産と利用 3 環境管理			4					
	3 主要野菜の栽培方法	1 イチゴ 2 タマネギ 3 キュウリ 4 トマト・ナス			3					
4 野菜園芸の経営	1 野菜園芸経営の現状 2 野菜の流通機構 3 今後の経営の方向			2						
使用教材	教科書「野菜栽培の基礎」									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	23	科目名	花き総論		区分	専門（共通科目）				
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	1	総コマ数	10		
到達目標	花き園芸の基礎や生産と消費の動向を学習し、花きの栽培技術や経営能力の向上を図る。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	1 花き生産の現状	1 全国と佐賀県 2 花きと花き産業			2					農業大学校 月足 公男
	2 人間生活と花き	1 人間生活と花き 2 花きの種類・品種と名前 3 花きの利用とデザイン			1					
3 花きの特性と栽培・利用	1 特徴と観賞性 2 花きの成長・開花と環境 3 花きの繁殖方法 4 花きの育種 5 花きの品質と品質保持			7						
使用教材	教科書「草花栽培の基礎」									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	24	科目名	果樹総論		区分	専門（共通科目）				
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	1	総コマ数	10		
到達目標	果樹園芸の基礎知識を学習し、果樹の栽培特性・栽培技術を理解する。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	1 果樹の成長と果実生産	1 果樹の一生と一年 2 各器官の生長と果実生産			1					農業大学校 納富 麻子
	2 果樹栽培の基礎	1 果樹栽培の適地 2 年間の管理と良果多収の基本 3 枝の生長と整枝・せん定 4 基本になる栽培管理技術 5 かん水・施肥 6 果樹園の開設 7 施設栽培・高品質果栽培 8 貯蔵・加工			1					
				1						
使用教材	教科書「果樹栽培の基礎」									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	25	科目名	畜産総論		区分	専門（共通科目）				
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	1	総コマ数	10		
到達目標	家畜飼育の基礎知識を学び、農業の中の畜産の位置付けについて理解する。また、各家畜の生理・生態と飼育を学んだ後、乳牛を取り上げ理解を深め									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	1 畜産業の沿革と現状	1 わが国の畜産の現状 2 国民の食生活における畜産の役割			2					農業大学校 村田 賢治
	2 家畜の品種と特徴	1 家畜品種の成り立ち 2 各家畜の品種と特徴 3 各家畜の生理・生態と飼育			3					
	3 乳牛の飼養と管理	1 乳牛の栄養と飼料給与 2 乳牛の繁殖と育種の概要 3 泌乳の生理と搾乳 4 乳牛の飼料給与と管理 5 乳牛の育成			3					
	4 家畜飼養管理	1 家畜飼養管理とアニマルウェルフェア			1					
5 畜産に対する諸施策	1 生産振興対策 2 価格安定対策 3 金融制度			1						
使用教材	教科書「家畜飼育の基礎」									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	26	科目名	土壌肥料総論		区分	専門（共通科目）				
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	1	総コマ数	10		
到達目標	土壌肥料の基礎知識を習得するとともに各種土壌の現状と土づくりの方策について理解する。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	1 土壌の生成と分類	1 物質循環と土 2 土性、粘度、腐植 3 土壌の理化学性と土壌微生物 4 土壌水分 5 有機物と土壌改良資材			2					農業試験研 究センター 菖蒲信一郎
	2 土壌の性質	1 水田、畑、野菜、ハウス、果樹園、牧野等、各種土壌の特徴			2					
	3 植物の栄養	1 植物の主な生理作用 2 養分吸収と施肥			3					
4 肥料及び土壌改良資材	1 各種肥料の分類と特徴 2 作物の要素欠乏症 3 有機物と土壌改良資材			3						
使用教材	教科書「土壌診断の方法と活用」・「土壌診断の読み方と肥料計算」									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	27	科目名	植物防疫農薬総論		区分	専門（共通科目）				
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	1	総コマ数	10		
到達目標	1. 農薬に関する基礎知識を習得する。また、関連法規についても理解する。 2. 農薬等の化学物質で特に毒性の強い毒物・劇物に関する知識や取扱い技術を習得する。 3. 作物に害をおよぼす病害虫の一般的な生理・生態について理解し、作物保護の方策・技術に関する基礎的な能力を養う。									
指導内容	大項目 (単元)		小項目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等	
					講義	演習	実験	実習		
	農薬		1 農薬の種類と物理化学的性状及び作用機作		4					農業技術防除センター 音田由紀子
	1 農薬の種類・特性		1 農薬の安全性評価の仕組み							
	2 農薬の安全性評価		2 農薬の残留とその安全性							
3 関係法規 ① 農薬取締法 ② 毒物及び劇物取締法 ③ 食品衛生法		1 農薬取締法の概要 1 毒物及び劇物取締法の概要 1 食品衛生法等の関連法規								
4 農業用品目を中心とした毒物・劇物の取扱い		1 毒物・劇物に関する基礎知識 2 毒物・劇物に関する法令 3 毒物・劇物に関する取扱技術						農業試験研究センター 成富 毅誌		
植物防疫		1 病害		3						
2 害虫		1 害虫の概念 2 病原菌の種類 3 病害防除の概念 4 病原菌の生理・生態 5 病害の防除技術		3						
使用教材	教科書「農薬概説」「植物防疫講座(病害編)」・「植物防疫講座(害虫編)」									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	28	科目名	農業機械 I		区分	専門（共通科目）				
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	1	総コマ数	10		
到達目標	農業機械に関する基礎知識を理解する。									
指導内容	大項目 (単元)		小項目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等	
					講義	演習	実験	実習		
	1 農業機械の発達		1 農業の機械化 2 農業機械と安全作業		2					農業大学校 居石 知成
	2 原動機		1 電動機 2 内燃機関 3 燃料と潤滑油		3					
	3 トラクタの構造		1 乗用トラクタの構造と機能		3					
4 農業機械の効率的利用		1 機械化計画		2						
使用教材	教科書「農業機械の構造と利用」									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	29	科目名	環境保全と農業	区分	専門（共通科目）		
課程	全課程	専攻	全専攻	学年	1	総コマ数	10
到達目標	・農業の環境保全機能を活かし、生産性と調和等に留意しつつ、化学肥料、農薬の一層の効率的利用等を通して、環境負荷をできる限り軽減するような持続的農業のあり方を理解する。 ・さらに、畜産における環境保全対策の概要についても理解する。						
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態別コマ数				担当 講師名等
			講義	演習	実験	実習	
	1 環境保全型農業の推進	1 環境保全型農業とは 2 環境保全型農業の推進方策 3 化学肥料・農薬等の効率的利用 4 環境保全型農業の取り組み事例	4				園芸農産課 松隈 公孝
	2 有機農業	1 有機認証制度の概要 2 有機農産物、有機加工食品の認証基準 3 有機農産物、有機加工食品の認証表示方法 4 有機農産物、有機加工食品の流通状況	4				農業試験研究センター 菖蒲信一郎
3 畜産における環境対策	1 家畜糞尿と適正処理 2 畜産と耕種との有機的連携	2				畜産課 谷口 宏樹	
使用教材	オリジナルテキスト						
評価の要素	筆記試験・実技試験（演習）・学習態度・出席状況						

番号	30	科目名	気象と農業	区分	専門（共通科目）		
課程	全課程	専攻	全専攻	学年	2	総コマ数	10
到達目標	気象に関する基礎知識を習得するとともに農作物と気象の関係について理解する。						
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態別コマ数				担当 講師名等
			講義	演習	実験	実習	
	1 我が国の気象と農業	1 気象と農業の関わり 2 気象観測項目と主要気象要素 3 異常気象 4 地球温暖化	2				佐賀大学 原口 智和
	2 水に関わる気象	1 降水の観測方法 2 天気予報の見方 3 蒸発散 4 土壌水分とストレス	1				
	3 日射・放射に関わる気象	1 日射・放射の観測方法 2 作物栽培と日射の影響 3 放射冷却と対策	1				
	4 風に関わる気象	1 風の観測方法 2 風の吹き方 3 台風・竜巻 4 風による農業災害と対策	2				
	5 農地の気象と調節方法	1 農地の気象変化 2 農地における気象環境の制御	2				
	6 施設栽培と環境調節	1 光環境と調節 2 温度環境と調節 3 二酸化炭素調節の効果	1				
7 畜産と気象	1 家畜の生理と気象 2 暑熱対策	1					
使用教材	オリジナルテキスト						
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況						

番号	31	科目名	アグリビジネス		区分	専門（共通科目）		
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	1	総コマ数	10
到達目標	1. 6次産業化の取り組みや支援策等について学ぶ 2. 食の安全・安心を求める社会的要請に農業経営者として対応しうる能力を習得する。 3. 農業をビジネスとして捉え、先進的な農業経営等を実践し、法人等の組織や地域農業をけん引できる経営革新能力の向上を目指す。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態別コマ数				担当 講師名等	
			講義	演習	実験	実習		
	1 食の安全・安心	1 食の安全・安心について 2 食品の表示について（食品衛生法とJAS法）	2				外部講師 橋本 由美子	
	2 食育	1 食育とは 2 食育の考え方と進め方					外部講師 橋本 由美子	
	3 農業の6次産業化	1 6次産業化とは何か 2 県内での取り組みについて ① 農産加工 ② 農家レストラン ③ 農家民宿 ④ グリーンツーリズム				4	外部講師 橋本 由美子	
		3 国・県における6次産業化の取り組み状況 4 6次産業サポートセンターの概要 5 6次産業化の支援策	4				農業経営課 片渕 恵子	
使用教材	オリジナルテキスト、教科書「新しい食物学」							
評価の要素	筆記試験、レポート、学習態度、出席状況							

番号	32	科目名	農業経営及び農業金融		区分	専門（共通科目）		
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	1	総コマ数	10
到達目標	農業経営を構成している経営要素と性質並びに組織経営体の設立・運営等を理解し、経営者として経営の計画と運営に必要な能力を養う。また、農業簿記の基礎についても学ぶ							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態別コマ数				担当 講師名等	
			講義	演習	実験	実習		
	1 農業経営	1 農業経営と経営者 2 農業経営の構成と組織 3 農業経営の成果 4 農業経営の運営 5 県内の農業環境と経営	6				農業技術防除センター 大竹 智仁	
	2 農業制度金融	1 農業金融の特質 2 農業金融機関の種類 3 農業制度金融の役割と種類 4 農業信用保証制度のしくみ	2				生産者支援課 執行 睦	
	3 農業共済制度の概要	1 農業共済制度の概要 2 収入保険制度の概要	2				生産者支援課 木島 克浩	
使用教材	オリジナルテキスト							
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況							

番号	33	科目名	農業法人		区分	専門（共通科目）				
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	2	総コマ数	10		
到達目標	農経営の改善を図る上で有効な手段となる「農業経営の法人化」の概要や法人設立手続き、法人に係る税、資金調達、労務管理などについて習得する。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	1 農業法人とは	1. 農業法人の形態について 2. 農業法人の現状について 3. 農地所有適格法人について			4					佐賀県農業会議 武藤 正則
	2 農業経営の法人化	1. 法人化のメリット等について 2. 法人の設立と留意点 3. 集落営農法人について 4. 経営者としての心構えについて 5. 法人の労務管理と福利厚生			4					
3 先進法人視察研修	1. 先進法人視察研修			2						
使用教材	教科書「農業法人の設立（全国農業会議所）」									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	34	科目名	農業生産管理工程		区分	専門（共通科目）				
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	1	総コマ数	10		
到達目標	・GAPの基本的な考え方や仕組み、導入の仕方について学び、将来的な農業経営等に活用できる知識を習得する。さらに、実際の農場（学内実習農場）でも試みができるようにする。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	1 GAPとは	1 GAPとは			1					外部講師 黒川 幸彦
	2 次世代につなげる農業	1 食品の安全を守るために 2 農業者ができること 3 競争力のある農業へ			1					
	3 GAPがもたらすメリット	1 GAPの目的 2 GAPの実施から得られるもの 3 GAP認証が生まれた背景			2					
	4 GAPの実施に向けて	1 PDCAの重要性 2 2 ルール作りの重要性 3 GAPの5つの柱 3			2					
	5 事例から問題点を考える	1 食品の安全を確保する 2 環境を保全する 3 労働者の安全を守る 4 労働者の人権を守る 5 農業経営の効率化・充実を図る			3					
6 理解度確認テスト	1 理解度確認テスト			1						
使用教材	オリジナルテキスト、農林水産省「これから始めるGAP」									
評価の要素	筆記試験・実技試験（演習）・学習態度・出席状況									

番号	35	科目名	農業協同組合		区分	専門（共通科目）				
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	2	総コマ数	10		
到達目標	JAへの理解を深める。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	1 JAのあらし	1 JAとは 2 日本・世界の協同組合 3 協同組合と株式会社の違い 4 協同組合原則			2					外部講師 藤戸 和之
	2 JAの生い立ちと歩み	1 協同組合の誕生 2 世界の農業協同組合の生い立ち 3 日本の農業協同組合の生い立ち 4 JAの歩み			2					
	3 JAの組織・運営	1. 組織 ① 組合員 ② JAの種類 2 JAの運営 ① 組合員の権利と義務 ② 運営機関 ③ 組織活動 ④ 組織機構 ⑤ JAグループ			2					
4 JAの事業と活動	1 JA事業の特徴 2 JA事業の種類 3 JA事業の内容			4						
使用教材	教科書「私たちとJA」									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	36	科目名	農畜産物貿易と流通		区分	専門（共通科目）				
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	2	総コマ数	10		
到達目標	農産物貿易に関しては世界における農産物の需給と貿易の特徴的な動向と我が国の農業や社会に与える影響について学ぶ。また、農産物流通に関しては流通のしくみと機能・役割並びに農産物流通に関する諸問題について理解を深め、農業経営の改善に役立てる。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	1 農産物の流通 ① 流通とは何か	1 消費と生産と流通 2 流通の社会的役割 3 流通の種類 1 流通の仕組み			2					流通・貿易課 柴原 賢介
	② 流通のしくみと機能	2 流通の諸機能 3 卸売業者の役割 1 安全性問題								
	③ 農産物流通の問題	2 輸入増大問題 3 環境問題								
2 農産品の輸出	1 日本の農産品の輸出 2 農林水産物・食品輸出の状況 3 うれしの茶の海外販売開拓の事例			4				外部講師 浜口 聡		
3 現場講義	1 市場の仕組み ① 青果物 ② 畜産			4				農業大学校 松尾 洋一		
使用教材	オリジナルテキスト									
評価の要素	筆記試験、レポート、学習態度、出席状況									

番号	37	科目名	農業政策		区分	専門（共通科目）				
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	2	総コマ数	10		
到達目標	1. 農業・農村の情勢及び国や県の農業政策について学ぶ。 2. 先進農家の事例について学ぶ。 3. 鳥獣被害の現状と対策について学ぶ。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	農業政策									
	1 農業政策の基礎	1 国の農業政策について ① 食料・農業・農村基本法及び関連法について ② 国の農業施策について 2 本県の農業政策について ① 佐賀県の農業振興計画について ② 佐賀県の農業施策について			2					農政企画課 出野 健太
	2 農業・農村をめぐる主な情勢の変化	1 農業を巡る国際情勢について								
3 農業経営戦略について	1 県内の先進農家の事例紹介 ・ 農業士、法人農家、4Hクラブ員等				4			農業大学校 教務		
4 鳥獣被害対策	1 鳥獣被害の状況について 2 鳥獣の特性と効率の防除について 3 地域ぐるみの被害対策について 4 現地講義				4			農業技術防除センター 田浦 孝		
使用教材	オリジナルテキスト									
評価の要素	筆記試験、レポート、学習態度、出席状況									

番号	38	科目名	農業法規		区分	専門（共通科目）				
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	2	総コマ数	12		
到達目標	1. 農業経営の基盤となる農地の基本的な法規や権利の調整などについて学ぶ。 2. 農業生産の基盤となる農地の整備や水利・農業基盤関係施設などについて学ぶ。 3. 農業関係の知的財産の基本を学ぶとともに、具体的事例を基にグループ演習を行う。 4. 農業金融の特質と制度資金、災害時に活用できる農業共済制度について学ぶ。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	◎農業法規									
	1 農地の利用調整について	1 農業振興地域の整備に関する法律 2 農地法 3 農業経営基盤強化促進法			2					農山村課 宮地 敏史
	2 農業農村整備事業について	1 農業農村整備事業の概要 2 農地等の防災保全 3 農村環境の整備 4 生産基盤の整備 5 施設の維持管理			2	2				農業経営課 久納 健司 農山村課 林田 晃明 農地整備課 猿渡 亨
3 農業関係の知的財産の管理について	1 種苗法（グループ演習を含む） 2 家畜遺伝資源法 3 商標法（グループ演習を含む）			4				外部講師 本多 伸介		
使用教材	オリジナルテキスト									
評価の要素	筆記試験、レポート、学習態度、出席状況									

番号	39	科目名	スマート農業	区分	専門（共通科目）		
課程	全課程	専攻	全専攻	学年	2	総コマ数	13
到達目標	新たな普及が見込まれるスマート農業技術の基礎知識を習得するとともに、実際に操作を行う。						
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態別コマ数				担当 講師名等
			講義	演習	実験	実習	
	1 スマート農業の概要 ※この項目のみ、1年生も受講	1 スマート農業とは（定義と種類）	1				農政企画課 出野 健太
	2 スマート水田農業 (GPSコンバイン・トラクタ・田植機他)	1 水田でのスマート農業とは 2 水田用スマート機器の種類と利用	1	1			農業試験研究センター 宮崎 雄太
	3 農業用ドローン	1 農業用ドローンの動作原理 2 農業用ドローンの導入状況と活用 3 実地演習	1 1		2		外部講師 九州エアロスペース 平石 善憲
	4 スマート畜産	1 畜産でのスマート農業とは 2 畜産用スマート機器の種類と利用	1		1		農業技術防除センター 横尾 直樹
5 施設園芸の環境制御技術	1 環境制御技術の理論と実際 2 実地演習	2		2		外部講師 林 和志	
使用教材	オリジナルテキスト						
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況						

番号	41	科目名	農業実験	区分	専門（共通実験・演習）		
課程	全課程	専攻	全専攻	学年	1	総コマ数	18
到達目標	○バイオテクノロジーの開発利用状況、花、野菜等組織培養に関する基礎知識や技術を習得する。 ○病害・害虫の形態を観察し、診断できる能力を養う。 ○水田および施設土壌の特徴を知り、肥料や土改材、堆肥などを投入することで生じるpHやEC、塩基類の変化を確認し、土壌への影響を把握する						
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態別コマ数		担当 講師名等		
			講義	演習	実験	実習	
	◎バイオテク実験 1 組織培養の基礎理論 2 遺伝子解析実験	1 バイテク技術および利用場面について 2 遺伝子工学について 1 器具の取扱い方法 2 実験器具の作成 3 トルコギキョウの葉からDNAを抽出 4 花色に関係する遺伝子をPCRにより増幅 5 遺伝子型を電気泳動により確認			6		農業試験研究センター 中山 聖菜 松崎 颯太
	◎病害虫実験 ① 病害 ② 害虫	1 形態観察 2 診断 1 形態観察 2 害虫の同定			6		農業試験研究センター 近藤 知弥 古川 あずさ
◎土壌肥料実験	1 ○ 土壌分析の意義 ○ 土壌診断の流れ ○ ヲブリング方法と留意点 ○ pH・ECの測定 2 ○ 農作物における窒素の役割と種類 ○ 土壌の無機態窒素の測定 3 ○ 土壌および農作物におけるリン酸・カリウムの役割・測定 4 ○ 土壌および農作物における石灰・苦土の役割・測定			8		農業試験研究センター 菅蒲信一郎	
使用教材	オリジナルテキスト、培養器具、B5ノート(無地)、顕微鏡、土壌分析器具						
評価の要素	実技試験、レポート評価、学習態度、出席状況						

番号	42	科目名	農業機械操作・整備演習	区分	専門（共通実験・演習）		
課程	全課程	専攻	全専攻	学年	1・2	総コマ数	28・24
到達目標	1. トラクタの基本操作法を習得する。 2. トラクタのけん引操作法を習得する。 3. 農業機械に関する基礎的な知識と、大型農業機械の基本的な操作を習得する						
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態別コマ数		担当 講師名等		
			講義	演習	実験	実習	
	農業機械操作演習 1 トラクタの基本運転 (1年) 2 トラクタのけん引運転 (2年)	1 トラクタの操作法 2 安全確認の方法 3 道路交通法に基づいた道路走行 1 けん引操作方法 2 安全確認の方法 3 道路交通法に基づいた道路走行				22	農業大学校 居石 知成 菅 裕精
	農業機械整備演習 (1年) 1 学科 2 実技	① 農業機械全般に関する基礎知識 ① トラクターの始業点検 ② ロータリーの脱着 ③ ロータリーによる模擬耕耘 ④ 草刈機の点検、操作方法		4		2	農業大学校 居石 知成
使用教材	専用教材、トラクタ、ロータリー、草刈機、工具						
評価の要素	実技試験、資格取得状況、学習態度、出席状況						

番号	43	科目名	農畜産物加工演習		区分	専門（共通実験・演習）			
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	1	総コマ数	10	
到達目標	食品衛生及び野菜・果実・穀類を使った食品加工に関する基礎的な知識や技術を習得する。								
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
					講義	演習	実験	実習	
	1 農畜産加工に関する基礎知識	1 食品衛生法、食品表示に関する基礎知識 2 農畜産加工の基礎知識 3 商品づくりの基礎知識			1				農業大学校 松山 悦子 上野 敦子
	2 穀類・野菜・果実・畜肉の加工・包装技術	1 漬け物加工				1			
		2 惣菜加工				2			
		3 ソース加工				2			
		4 菓子加工				3			
		5 製粉・乾燥				1			
使用教材	オリジナルテキスト								
評価の要素	演習成果、学習態度、出席状況								

番号	43	科目名	農畜産物加工演習		区分	専門（共通実験・演習）			
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	2	総コマ数	10	
到達目標	農産物の食品加工技術及び商品づくりの基礎知識、包装・ラベル作成等を習得する。								
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
					講義	演習	実験	実習	
	1 穀類・野菜・果実・畜肉の加工・包装技術	1 惣菜加工				2			農業大学校 松山 悦子 上野 敦子
		2 ソース加工				2			
		3 菓子加工				4			
		4 製粉・乾燥・レトルト				1			
		5 包装・ラベル作成				1			
使用教材	オリジナルテキスト								
評価の要素	演習成果、学習態度、出席状況								

番号	44	科目名	農畜産物販売演習	区分	専門（共通実験・演習）		
課程	全課程	専攻	全専攻	学年	2	総コマ数	14
到達目標	農畜産物の販売のための、ネーミング、包装、ポップ、ディスプレイ、広報等の演習を通して、消費者にアピールする商品作りを学ぶ。						
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態別コマ数				担当 講師名等
			講義	演習	実験	実習	
	1 販売促進	1 販売促進について 2 対象顧客の考え方 3 ライフスタイルとオケージョンについて 4 企画書を作る	2	2			
	2 広告制作基礎技術Ⅰ	1 ネーミングとキャッチフレーズ 2 色の特徴と活用 3 広告文字の書き方 4 企画書を書く 5 POP広告案を作る	2	1 1			
	3 広告制作基礎技術Ⅱ	1 画面構成 2 POPを作る	2			2	
4 広告制作	1 農産物直売で実際に使うPOPを作る				2		
使用教材	オリジナルテキスト、マジック、定規						
評価の要素	演習成果、学習態度、出席状況						

番号	45	科目名	農業簿記演習	区分	専門（共通実験・演習）		
課程	全課程	専攻	全専攻	学年	2	総コマ数	10
到達目標	1. 農業簿記の基礎について学ぶ。 2. バーチャル経営を隔週で伝票や帳簿を整理し、現状把握と計画修正を行いながら、経営感覚を醸成する。						
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態別コマ数				担当 講師名等
			講義	演習	実験	実習	
	1 バーチャル経営演習	1 農業簿記ソフトを用いた週末・月末集計 2 農業簿記ソフトを用いた年度末集計 3 農業簿記ソフトを用いた期首・期末登録		6			
2 農業簿記	1 複式簿記の原理 2 貸借対照表と損益計算書 3 決算報告 4 財務諸表の分析方法		4				
使用教材	オリジナルテキスト、専用教材(バーチャル経営演習)						
評価の要素	演習成果、学習態度、出席状況						

番号	46	科目名	パソコン演習		区分	専門（共通実験・演習）			
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	1	総コマ数	10	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン及びインターネットの基礎を習得する。 ・ワープロ、表計算、プレゼンテーションソフトの基本的な操作方法を学び、習得する。 ・データを各種アプリケーションを活用し、プレゼンテーションを行う。 								
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
				講義	演習	実験	実習		
	1	パソコン操作の基本	1 パソコンおよびインターネットの基本 2 パソコン及びインターネットの活用	1	1			外部講師 大坪康隆	
	2	ワープロソフト	1 ワープロソフトの基礎 2 演習	1	1				
	3	表計算ソフト	1 表計算ソフトの基礎 2 演習	1	1				
	4	プレゼンテーションソフト	1 プレゼンテーションソフトの基礎 2 演習	1	1				
	5	応用操作	1 データのまとめ、発表の方法 2 演習	1	1				
使用教材	オリジナルテキスト、パソコン教室								
評価の要素	演習成果、学習態度、出席状況								

番号	61	科目名	土壌・肥料各論	区分	専攻（共通科目）		
課程	園芸農産	専攻	全専攻	学年	2	総コマ数	20
到達目標	1. 作物栽培圃場の土壌改良について理解する。 2. 肥料の特性を知り、施肥技術について理解する。						
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態別コマ数				担当 講師名等
			講義	演習	実験	実習	
	◎土壌各論 1 土壌の基礎	1 土壌とは 2 土壌の種類と分布 3 土壌の構造 4 土壌の性質	10				農業試験研究センター 菅蒲信一郎
	2 土づくりと土壌診断	1 窒素循環と有機物 2 水田・畑・施設・樹園地・草地の土 3 リアルタイム土壌診断					
	◎肥料各論 1 肥料と施肥	1 作物が吸収する養分 2 化学肥料の種類と特性 3 有機質肥料と施肥法 4 有機物 5 施肥の方法 6 施肥技術 7 肥料の施肥量と肥効価の計算	10				外部講師 福田 守
使用教材	教科書「土と施肥の新知识（農文協）」、「土と微生物と肥料のはたらき（農文協）」						
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況						

番号	62	科目名	病害・虫害各論	区分	専攻（共通科目）		
課程	園芸農産	専攻	全専攻	学年	2	総コマ数	16
到達目標	1. 作物の病害の発生予察と合理的防除法について理解する。 2. 作物の害虫の発生予察と合理的防除法について理解する。						
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態別コマ数				担当 講師名等
			講義	演習	実験	実習	
	◎病害各論 1 病害の発生生態	1 病害の概念と原因 2 病害の伝播と発病	8				農業技術防除センター 平田 真紀子
	2 病害の発生予察	1 病害の発生条件と発生予察					果樹試験場 前田貢輝
	3 病害の防除対策	1 病害の防除技術					
	◎害虫各論 1 害虫の発生生態	1 害虫の概念と生理、形態	8				農業技術防除センター 白石 祥子
	2 害虫の発生予察	1 害虫の発生予察					果樹試験場 池田 亜紀
	3 害虫の防除対策	1 害虫の防除技術					
使用教材	教科書「植物防疫講座 病害編（日本植物防疫協会）」、オリジナルテキスト						
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況						

番号	63	科目名	植物生理	区分	専攻（共通科目）		
課程	園芸農産	専攻	全専攻	学年	1	総コマ数	10
到達目標	植物の生育に必要な養水分の役割と植物体の働きを理解し、作物栽培の基礎知識を習得する。						
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態別コマ数				担当 講師名等
			講義	演習	実験	実習	
	1 植物の栄養生理	1 種子と発芽 2 植物細胞の構造と働き 3 根系の形態と機能 4 葉の形態と機能 5 植物体必須元素	4				
	2 物質生産	1 光合成・呼吸・蓄積	2				
	3 生長調節	1 植物ホルモン 2 生物・化学的成長調節 3 物理的成長調節	2 1 1				
使用教材	オリジナルテキスト						
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況						

番号	64	科目名	植物育種	区分	専攻（共通科目）		
課程	園芸農産	専攻	全専攻	学年	1	総コマ数	10
到達目標	作物の品種と育種学及び採種について理解する。						
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態別コマ数				担当 講師名等
			講義	演習	実験	実習	
	1 はじめに	1 増加する人口と食料生産 2 遺伝子が物を作る	1				
	2 遺伝子発現の分子的基础	1 遺伝子の発現と模式図	1				
	3 植物の栽培化と起源	1 作物の起源 2 作物と農耕の伝播	2				
	4 遺伝資源の収集・保存	1 遺伝的弱性 2 遺伝子事業の組織化と国際協力	1				
	5 遺伝変異の作出	1 交雑による変異の拡大 2 突然変異による育種 3 遺伝子組換えによる育種	2				
	6 育種計画	1 育種目標の設定 2 育種方法の選択	2				
7 育種の成果	1 多収性品種の作出 2 良食味品種の育成	1					
使用教材	オリジナルテキスト						
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況						

番号	65	科目名	農業機械Ⅱ		区分	専攻（共通科目）		
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	2	総コマ数	4
到達目標	1. 主要な農業機械について、日常の保守点検技術について習得する。 また、農作業事故を防止するために必要な機械の操作方法を習得する。 2. 施設園芸の現状と施設・資材の特徴、環境制御や省エネルギー等の技術を習得する。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等
				講義	演習	実験	実習	
	農業機械Ⅱ							農業大学校 居石 知成 上土井優貴
	1 機械の保守点検	1 日常の保守点検 2 各種アタッチメントの脱着		2				
	2 機械の安全操作 ※トラクター、コンバイン、田植機、(乗用管理機) 草刈機、カルチ、ロータリー	1 農作業事故を防止するための操作方法		2				
使用教材	オリジナルテキスト							
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況							

番号	65	科目名	園芸施設		区分	専攻（共通科目）				
課程	園芸農産	専攻	全専攻		学年	2	総コマ数	6		
到達目標	施設園芸の現状と施設・資材の特徴、環境制御や省エネルギー等の技術を習得する。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等		
				講義	演習	実験	実習			
		1 施設園芸の発展	1 施設園芸の現状と展望 2 施設・資材の種類と特性		2					農業技術防 除センター 高取 由佳
		2 施設環境の制御技術	1 光環境制御 2 温度環境制御 3 湿度環境制御 4 二酸化炭素環境制御		2					
	3 施設園芸の省エネルギー対策	1 対策の考え方 2 省エネルギー技術		2						
使用教材	オリジナルテキスト									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	66	科目名	作物現地講義		区分	専攻（選択科目）				
課程	園芸農産	専攻	露地野菜・農産（農産主）		学年	2	総コマ数	10		
到達目標	作物に関する新技術や経営・流通等に関するより高度な現地の事例を把握する。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	1 作物の新技術の実態把握	1 農業試験研究センターにおける作物関連の栽培技術や品種育成への取組			4					農業大学校 多々良 泉
	2 作物関連組織の現地優良事例	1 農業生産法人等の組織営農や「売れる米づくり」等の組織的取組に関する現地事例の調査			4					
3 農業機械・設備・施設等に関する最新情報	1 「さが農業まつり」等における作物関連機械等の最新情報			2						
使用教材	オリジナルテキスト									
評価の要素	レポート評価、学習態度、出席状況									

番号	66	科目名	野菜現地講義		区分	専攻（選択科目）				
課程	園芸農産	専攻	施設野菜、露地野菜・農産（露地野菜主）		学年	2	総コマ数	10		
到達目標	野菜栽培を先進的に取り組まれている事例を把握する。 また、農業機械や施設・設備等に関する最新の情報を理解する。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	1 先進農家の取り組み事例	1 農業試験研究センター等における病害虫防除技術や有機栽培等の取組事例調査			2					農業大学校 堤 健二
	2 省力化や高品質に取り組む施設・機械を学ぶ	1 農業法人や先進農家及び種苗会社や育苗センター等への優良事例の取り組みを視察する。			3					
	3 病害虫や有機栽培等の新技術の実態把握	1 農業試験研究センター等における病害虫防除技術や有機栽培等の取組事例調査			2					農業大学校 川崎 美紀
	4 先進農家や新品種等の現地事例調査	1 農業法人や先進農家及び種苗会社や育苗センター等へ優良事例の取組を視察する。			2					
5 農業機械・設備・施設等に関する最新情報	1 「さが農業まつり」等における作物関連機械等の最新情報収集			1						
使用教材	オリジナルテキスト									
評価の要素	レポート評価、学習態度、出席状況									

番号	66	科目名	花き現地講義	区分	専攻（選択科目）		
課程	園芸農産	専攻	花き	学年	2	総コマ数	10
到達目標	花き栽培に関する技術を習得する。						
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態別コマ数				担当 講師名等
			講義	演習	実験	実習	
	1 先進農家での企業的経営の 取り組み事例	1 周年キク・バラ経営での栽培技術と雇 用方法について	4				
	2 バラ栽培の基本技術について	1 生産技術 ①育苗技術の習得 ② 樹形整枝技術の習得 ③収穫方法の習得(元切り、切り上げ) ④養液管理技術の習得 (PH、EC)	4				
3 農業関連の機器・資材につ いて	1 「さが農業まつり」等における作物関 連機械等の最新情報について	2					
使用教材	オリジナルテキスト						
評価の要素	レポート評価、学習態度、出席状況						

番号	66	科目名	果樹現地講義	区分	専攻（選択科目）		
課程	園芸農産	専攻	果樹	学年	2	総コマ数	10
到達目標	柑橘・落葉果樹栽培に関する技術を習得する。						
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態別コマ数				担当 講師名等
			講義	演習	実験	実習	
	1 温州みかんの栽培技術	1 生産技術 ① 繁殖 (台木・接ぎ木) ② 品種・苗木の剪定・植えつけ ③ 整枝・剪定 ④ 摘蕾・摘果・袋掛け ⑤ 土壌管理と施肥 ⑥ 収穫・貯蔵・出荷	6				
	2 落葉果樹の栽培技術	2 生産技術 ① 繁殖 (台木・接ぎ木) ② 品種・苗木の剪定・植えつけ ③ 整枝・剪定 ④ 摘蕾・摘果・袋掛け ⑤ 土壌管理と施肥 ⑥ 収穫・貯蔵・出荷	4				
使用教材	オリジナルテキスト						
評価の要素	レポート評価、学習態度、出席状況						

番号	67	科目名	作物栽培各論 I	区分	専攻 (選択科目)		
課程	園芸農産	専攻	露地野菜・農産 (農産主)	学年	2	総コマ数	10
到達目標	水稻の基礎生理を理解し、栽培に関する知識や技術を習得する。						
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態別コマ数				担当 講師名等
			講義	演習	実験	実習	
	1 稲作の現況	1 水稻栽培方法の変遷 2 世界のコメ事情 3 佐賀県における米の生産現況 4 水稻の農業生産に占める地位	3				
		5 稲の一生 6 稲の形態と機能 7 同伸葉同伸分けつ理論 8 水稻収量構成要素と収量決定	3				
		9 栽培方法と特徴 10 品種別栽培方法 11 品質・食味向上対策 12 災害対策	4				
使用教材	オリジナルテキスト						
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況						

番号	67	科目名	野菜栽培各論 I	区分	専攻 (選択科目)		
課程	園芸農産	専攻	施設野菜、露地野菜・農産 (露地野菜主)	学年	2	総コマ数	10
到達目標	露地野菜類の特徴を理解する。また、栽培に関する知識や技術を習得する。						
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態別コマ数				担当 講師名等
			講義	演習	実験	実習	
	1 性状と適応性	1 性状 2 気象条件 3 土壌条件	2				
	2 品種	1 品種の特性	2				
	3 栽培の要点	1 播種 2 育苗管理 3 定植 4 栽培管理 5 品質向上 6 病害虫	6				
使用教材	教科書「野菜園芸ハンドブック (養賢堂)」						
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況						

番号	67	科目名	花き栽培各論 I	区分	専攻 (選択科目)			
課程	園芸農産	専攻	花き	学年	2	総コマ数	10	
到達目標	1. 1年草、2年草、球根類、宿根草の特性を理解し、栽培に関する知識や技術を習得する。 2. 切花、観葉植物、樹木類の特性を理解する。 3. フラワーデザインや園芸装飾に関する知識や技術を習得する。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等
				講義	演習	実験	実習	
	1 特産地の形成 (新産地づくり)	1 主産地形成 2 経営的及び作物的特徴		2				
	2 品種の選定	1 品種と品種改良の方向 2 立地と市場性 3 栽培上の特性		2				
	3 栽培法の要点	1 播種定植法 2 育苗管理 3 栽植法と密度 4 花芽分化 5 除草剤使用法		2				
4 フラワーデザイン	1 フラワーデザインの基礎知識 2 フラワーデザインの技術 2 製作、装飾の手順 3 造園、ガーデニングの基礎知識		2	2				
使用教材	オリジナルテキスト							
評価の要素	筆記試験、演習成果、学習態度、出席状況							

番号	67	科目名	果樹栽培各論 I	区分	専攻 (選択科目)			
課程	園芸農産	専攻	果樹	学年	2	総コマ数	10	
到達目標	柑橘栽培の基礎理論を理解し、栽培に関する知識や技術を習得する。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等
				講義	演習	実験	実習	
	1 温州みかん及び中晩生柑橘の栽培	1 柑橘栽培の現況と動向 2 種類、品種の特性 3 開園、植栽、繁殖、更新 4 開花、結実、発育、肥大 5 収量構成要素と摘果・品質管理 6 土壌管理・施肥 7 災害・生理障害対策 8 採取・予措・貯蔵 9 整枝・剪定		5				
2 経営、技術体系の確立	1 柑橘周年供給体制と栽培型 2 柑橘複合 (種類、品種の組合せ) 技術体系 3 施設栽培 (ハウス、屋根かけ栽培) 技術		5					
使用教材	オリジナルテキスト							
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況							

番号	68	科目名	作物栽培各論Ⅱ	区分	専攻（選択科目）		
課程	園芸農産	専攻	露地野菜・農産（農産主）	学年	2	総コマ数	10
到達目標	麦類に関する生産動向、生育特徴等を理解する。また、栽培法等に関する知識や技術を習得する。						
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態別コマ数				担当 講師名等
			講義	演習	実験	実習	
	1 麦類生産の概況	1 麦類の需給と消費動向及び用途と今後の課題	1				
	2 麦類の起源と品種特徴	1 麦の分類と形態及び生態特徴	1				
	3 栽培の生理・生態	2 麦類の品種と特徴					
		1 麦の種子と特徴	1				
		2 茎葉の形態と麦の生育					
		3 環境条件と麦の生育					
		4 麦の生理機能と生長					
4 栽培の基本	5 幼穂分化と開花授精及び子実の生育						
	1 品種と生育特徴	1					
	2 生育管理と施肥						
	3 主な病害虫の発生消長と防除						
	4 品種向上を目指した収穫と乾燥調整技術						
5 主な栽培管理	1 麦の収穫構成要素と栽培	1					
	2 ほ場の乾田化と播種						
	3 麦の生育と管理作業						
6 栽培体系と災害回避技術	1 県内における麦類の主な栽培体系	1					
	2 災害の種類と被害回避技術						
7 麦類栽培の実践事例	1 県内における麦作農家の実践事例		2				
	2 作況調査と麦の生育		1				
8 穀類の加工と利用	1 穀類の加工特性と利用について		1				
使用教材	オリジナルテキスト						
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況						

番号	68	科目名	野菜栽培各論Ⅱ	区分	専攻（選択科目）		
課程	園芸農産	専攻	施設野菜・露地野菜・農産（露地野菜主）	学年	2	総コマ数	10
到達目標	施設野菜類の特徴を理解する。また、栽培に関する知識や技術を習得する。						
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)	教育形態別コマ数				担当 講師名等
			講義	演習	実験	実習	
	1 性状と適応性	1 性状 2 気象条件 3 土壌条件	2				
	2 品種	1 品種の特性	2				
3 栽培の要点	1 播種 2 育苗管理 3 定植 4 栽培管理 5 品質向上 6 病害虫	6					
使用教材	教科書「野菜園芸ハンドブック（養賢堂）」						
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況						

番号	68	科目名	花き栽培各論Ⅱ	区分	専攻（選択科目）			
課程	園芸農産	専攻	花き	学年	2	総コマ数	10	
到達目標	花きの栽培及び育種について、知識や技術を習得する。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等
			講義	演習	実験	実習		
	1 花きの栽培技術	1 品種の選定 2 温度の制御 3 施肥管理 4 整枝・選定 5 日長制御 6 二酸化炭素制御	5				農業試験研究センター 米倉 翔太 坂本健一郎	
2 花きの育種	1 育種の目的 2 花の構造 3 花の色素 4 遺伝の法則 5 育種の方法	5						
使用教材	オリジナルテキスト							
評価の要素	筆記試験、演習成果、学習態度、出席状況							

番号	68	科目名	果樹栽培各論Ⅱ	区分	専攻（選択科目）			
課程	園芸農産	専攻	果樹	学年	2	総コマ数	10	
到達目標	落葉果樹の特性を理解し、栽培に関する知識や技術を習得する。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等
			講義	演習	実験	実習		
	1 落葉果樹の栽培	1 本県の落葉果樹栽培と今後の動向 2 経営の現状と改善方向 3 開園の適地条件 4 生産技術 ① 繁殖（台木、接ぎ木） ② 品種、苗木の選定・植付 ③ 整枝、剪定 ④ 摘蕾、摘果（粒）、袋掛け ⑤ 土壌管理と施肥 ⑥ 収穫・貯蔵・出荷 ⑦ 気象条件	2 2 2 4				果樹試験場 田島 丈寛 池田 繁成	
使用教材	オリジナルテキスト							
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況							

番号	81	科目名	家畜栄養		区分	専攻（共通科目）				
課程	畜産	専攻	畜産		学年	1	総コマ数	10		
到達目標	家畜に必要な栄養素とその代謝について理解し、家畜飼養における基礎的な能力を養う。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	1 家畜の栄養生化学	1 体成分と栄養素 2 栄養素の利用（消化吸収、代謝）			2					農業技術防 除センター 横尾 直樹
	2 栄養所要量	1 所要量の決定			3					
	3 飼料と栄養素	1 エネルギー供給飼料 2 タンパク質供給飼料			2					
4 各家畜の特性	1 食性の違いと栄養、飼料の種類			3						
使用教材	教科書「家畜栄養学」									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	82	科目名	畜産環境保全		区分	専攻（共通科目）				
課程	畜産	専攻	畜産		学年	1	総コマ数	14		
到達目標	畜産・農業分野における環境保全と糞尿処理についての基礎的な知識を習得する。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	1 畜産環境保全概論	1 畜産環境保全の現状と対策 2 歴史、法律からみた環境保全			4					畜産試験場 本村 勇貴
	2 家畜糞尿の特性と処理利用の基礎	1 家畜糞尿の特性 2 糞尿処理とその利用技術			5					
3 堆肥化、水質汚濁・悪臭防止技術	1 堆肥化、汚水処理の方法 2 悪臭対策の方法			5						
使用教材	教科書「家畜環境保全論」									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	83	科目名	家畜衛生		区分	専攻（共通科目）				
課程	畜産	専攻	畜産		学年	2	総コマ数	14		
到達目標	家畜衛生について理解し、家畜の生産性の改善・向上に必要な知識や技術を習得する。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
					講義	演習	実験	実習		
	1 家畜飼養と衛生管理	1 家畜衛生の役割 2 集団衛生 3 環境と家畜衛生			5					畜産試験場 大坪 利豪
	2 家畜の疾病と予防	1 疾病の発生と予防 2 感染症・非感染症 3 家畜伝染病予防法			5					
3 関連する諸規則と制度	1 動物検疫の仕組み 2 最近の家畜伝染病			4						
使用教材	オリジナルテキスト									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	84	科目名	家畜解剖		区分	専攻（共通科目）				
課程	畜産	専攻	畜産		学年	2	総コマ数	14		
到達目標	家畜の成長と生産に関与する消化器官・繁殖器官等の基礎的な知識を習得する。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
					講義	演習	実験	実習		
	1 家畜解剖（各器官）	1 生殖器官（雌雄）の構造と働き 2 その他の器官と概要			5					畜産試験場 山下 信雄
	2 配偶子の形成、性成熟及び性周期、受精と妊娠	1 精子及び卵子形成と生理 2 子宮、胎盤の構造と働き			5					
3 消化器官の構造	1 食性・栄養素の違いと消化器官の差違 2 生産、維持・成長に係わる他の器官			4						
使用教材	教科書「家畜人工授精講習会テキスト（家畜人工授精師協会）」									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	85	科目名	家畜生理	区分	専攻（共通科目）			
課程	畜産	専攻	畜産	学年	2	総コマ数	14	
到達目標	家畜の生理について理解し、家畜飼養における基礎的な知識を習得する。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等
				講義	演習	実験	実習	
	1 家畜の消化生理	1 消化器の構造とその動き 2 家畜の生理的行動		3				
	2 家畜の産肉生理	1 家畜成長の原理 2 肥育に伴う体構成変化		3				
	3 家畜の繁殖生理	1 生殖系ホルモンの働き 2 その他のホルモンの役割		3				
	4 飼養環境と生理	1 家畜と環境 2 環境の利用・制御の技術		3				
5 アニマルウェルフェア	1 異常行動とは 2 飼養管理技術で考えること		2					
使用教材	オリジナルテキスト							
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況							

番号	86	科目名	家畜育種	区分	専攻（共通科目）			
課程	畜産	専攻	畜産	学年	2	総コマ数	14	
到達目標	家畜の改良に関する基礎知識と、具体的な方法や技術について理解する。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等
				講義	演習	実験	実習	
	1 育種と改良	1 繁殖と遺伝、選抜 2 能力・形質の評価 3 能力検定、品種登録		7				
2 改良の方法	1 計画交配、人工妊娠 2 育種価、遺伝率 3 受精卵の活用		7					
使用教材	教科書「家畜人工授精講習会テキスト（家畜人工授精師協会）」							
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況							

番号	87	科目名	飼料作物・畜産機械		区分	専攻（共通科目）				
課程	畜産	専攻	畜産		学年	1	総コマ数	14		
到達目標	牧草・飼料作物の栽培利用と畜産用機械・設備等の基礎的な知識を習得する。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	1 自給飼料の必要性	1 栄養性、経済性、安全性 2 草種、品種の特性 3 栽培方式と肥培管理法			5					畜産試験場 河原 弘文
	2 牧草飼料作物栽培	1 機械化作業 2 収穫、調整貯蔵、加工・流通の特性			5					
3 粗飼料の利用	1 家畜管理用機械設備			4						
使用教材	オリジナルテキスト									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	88	科目名	家畜繁殖		区分	専攻（共通科目）				
課程	畜産	専攻	畜産		学年	1	総コマ数	14		
到達目標	家畜の繁殖について理解し、生産、維持・増殖のための知識や技術を習得する。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	1 家畜の交配・種付け	1 牛、豚の交配 2 鶏、その他の繁殖・交配			4					畜産試験場 大曲 秀明
	2 性ホルモン、性機能のホルモン支配	1 性腺刺激ホルモン 2 卵胞・黄体ホルモン 3 その他のホルモン			4					
	3 性成熟、性周期	1 卵巣の周期的変化 2 子宮の変化			3					
4 人工授精と胚移植	1 受胎・妊娠と分娩 2 新たな繁殖技術			3						
使用教材	教科書「家畜人工授精講習会テキスト」									
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況									

番号	89	科目名	家畜飼養各論Ⅰ（肉牛・乳牛）	区分	専攻（共通科目）			
課程	畜産	専攻	畜産	学年	2	総コマ数	16	
到達目標	家畜（ウシ・乳・肉）の特性と飼養管理知識を習得する。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等
				講義	演習	実験	実習	
	1 ウシの種類と飼い方	1 品種、飼養形態		5				
	2 肉牛、乳牛の飼養標準	1 飼養の原理と飼養標準の利用		5				
3 改良と登録	1 繁殖技術、育成技術、肥育技術 2 疾病対策と事故防止 3 品種登録と審査基準		6					
使用教材	教科書「生産獣医療システム肉牛編（農文協）」・「乳牛管理の基礎と応用2012（農文協）」							
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況							

番号	90	科目名	家畜飼養各論Ⅱ（養豚・養鶏）	区分	専攻（共通科目）			
課程	畜産	専攻	畜産	学年	2	総コマ数	16	
到達目標	家畜家禽（豚・鶏）の特性と飼養管理の知識を習得する。							
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)		教育形態別コマ数				担当 講師名等
				講義	演習	実験	実習	
	1 豚、鶏の飼養形態と飼養標準	1 品種、用途別の飼い方 2 特徴的な飼養方式 3 新たな品種・種類 4 近年の家畜家禽の疾病		10				
	2 外国の飼養状況	1 外国の飼養状況		6				
使用教材	教科書「食べ物としての動物たち（講談社）」、「家畜飼育の基礎（農文協）」 オリジナルテキスト							
評価の要素	筆記試験、学習態度、出席状況							

番号	93	科目名	畜産経営		区分	専攻（共通科目）			
課程	畜産	専攻	畜産		学年	2	総コマ数	10	
到達目標	畜産経営の特性を理解し、畜産経営について各種畜産経営指標を通して評価する能力を身に着ける。さらに、実際の経営計画策定に向けて必要な知識を学ぶ。								
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
	1 佐賀の畜産の現状	1 各畜種の飼養動向 2 各種の経営形態			講義	演習	実験	実習	
	2 各種畜産経営指標	1 肉用牛の経営指標 2 乳用牛の経営指標 3 養豚の経営指標 4 採卵鶏・ブロイラーの経営指標			3				
	3 財務諸表の見方	1 損益計算書の見方 2 貸借対照表の見方 3 資金繰り表の見方			2				
	4 畜産経営診断の実際	1 経営診断のやり方 2 経営診断の実際			3				
	5 畜産金融	1 畜産関係の融資制度について 2 畜産関係の補助事業について			1				
使用教材	オリジナルテキスト								
評価の要素	実習成果、資格取得状況、学習態度、出席状況								

番号	91	科目名	家畜人工授精実習		区分	実習			
課程	畜産	専攻	畜産		学年	1、2	総コマ数	94	
到達目標	家畜の改良増殖に係る家畜人工授精業務に関し、必要な知識を習得させる。								
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
	1 関係法規	人工授精の発展の歴史・人工授精の意義及び得失			42				
	2 発情鑑定	精子注入・人工授精用器具などの種類及び特性							
	3 人工授精	人工授精用器具などの取り扱い 精液の採取・精液及び精子の検査 保存液の特性及び精液の希釈 精液の液状保存及び凍結保存 消毒の原理及び方法 家畜の審査 生殖器解剖 発情鑑定 精液精子検査法 人工授精							
	4 実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消毒方法 ・ 保存液の調整、精液の希釈、液状保存法及び凍結保存法 ・ 精液の採取法 ・ 人工授精用器具など取り扱い ・ 精液の注入法、関係帳簿及び証明書に記載方法 					52		
使用教材	教科書「家畜人工授精講習会テキスト（家畜人工授精師協会）」								
評価の要素	実習成果、資格取得状況、学習態度、出席状況								

番号	51	科目名	農家派遣研修		区分	現場研修			
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	1・2	総コマ数	70・50	
到達目標	先進農家における経営、生活体験を通して、農業者としてのあり方を体得し、農業に関する価値観を醸成する。								
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
					講義	演習	実験	実習	
	1 先進農家における宿泊体験学習	1 先進的技術の体験・学習 2 農家生活の体験 3 地域生産者組織の役割							農業士等
	2 経営手法の体得	1 販売手法 2 経営管理手法							
		1年生 5コマ×14日間 2年生 5コマ×10日間						70 50	
使用教材	実施要領・研修日誌								
評価の要素	体験レポート評価、学習態度								

番号	51	科目名	流通研修		区分	現場研修			
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	1	総コマ数	41	
到達目標	流通現場に学生を派遣し、流通の仕組みや消費動向、さらには農業生産との関わりを学ぶことで、農業経営者や指導者として求められるマーケティングやコミュニケーション、農業経営管理能力などを養い、資質向上を図る。								
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
					講義	演習	実験	実習	
	1 流通	1 流通のしくみ 2 消費動向 3 販売体験						35	市場・スーパー直売所等
		※5コマ×7日間							
使用教材	実施要領・研修日誌								
評価の要素	体験レポート評価、発表評価、学習態度								

番号	52	科目名	先進地事例調査		区分	現場研修			
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	2	総コマ数	40	
到達目標	農業の国際化の進展に対応するため、海外の先進地の農業生産現場や関連施設を視察し、さらにはファームステイを通じて、幅広い知見を習得する。								
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等
					講義	演習	実験	実習	
	1 農業生産現場及び農業関連施設の視察							26	農業大学校
	2 各国の文化施設や史跡などの見学							4	
使用教材	実施要領・研修日誌								
評価の要素	体験レポート評価、発表評価、学習態度								

番号	72	科目名	プロジェクト研究		区分	専門（共通実験・演習）				
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	1	総コマ数	20		
到達目標	専攻実践学習等で体得した専門知識・技術の集大成として、専攻プロジェクトを総括することにより自己解決能力を醸成し、我が家の経営設計を描くことで経営者としての能力を養う。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	1 課題設定	1 個々の課題の抽出、選定 2 ねらい、到達目標の設定			4	2				農業大学校 堤 健二 月足 公男 多々良 泉 納富 麻子 村田 賢治 川崎 美紀
	2 調査研究の進め方	1 調査区の設定 2 耕種、作業計画の樹立				2				
	3 調査法・観察法	1 課題解決のための調査方法 2 計画の遂行、確認				2				
	4 データ、資料の収集	1 データの収集、分析 2 資料の収集、分析				2				
5 結果の分析と評価・観察	1 結果の分析、取りまとめ 2 提示				4					
使用教材	パワーポイント、実習施設・機械 等									
評価の要素	取り組み態度、発表評価、内容・理解力・表現力・態度・実用性 等									

番号	73	科目名	卒業論文		区分	卒論				
課程	全課程	専攻	全専攻		学年	2	総コマ数	37		
到達目標	専攻実践学習等で体得した専門知識・技術の集大成として、専攻プロジェクトを総括することにより自己解決能力を醸成し、我が家の経営設計を描くことで経営者としての能力を養う。									
指導内容	大項目 (単元)	小項目 (教授内容)			教育形態別コマ数				担当 講師名等	
				講義	演習	実験	実習			
	1 課題設定	1 個々の課題の抽出、選定 2 ねらい、到達目標の設定			6					農業大学校 堤 健二 月足 公男 多々良 泉 納富 麻子 村田 賢治 川崎 美紀
	2 調査研究の進め方	1 調査区の設定 2 耕種、作業計画の樹立				6				
	3 調査法・観察法	1 課題解決のための調査方法 2 計画の遂行、確認				6				
	4 データ、資料の収集	1 データの収集、分析 2 資料の収集、分析				6				
5 結果の分析と評価・考察	1 結果の分析、取りまとめ 2 提示				6					
6 卒論発表	1 発表			4						
使用教材	パワーポイント、実習施設・機械 等									
評価の要素	取り組み態度、発表評価、内容・理解力・表現力・態度・実用性 等									